

(様式1)



報道資料

令和5年10月23日

1 件 名	～やまぐち子ども未来型学習プロジェクト～ 「うご板 (いた)」でデジタル壁画 in 大殿中文化祭
2 日 時	令和5年10月28日 (土) 10:00～11:05
3 場 所	山口市立大殿中学校 (山口市古熊1丁目4-1)
4 内 容	<p>本市教育委員会とYCAMが連携した先進教育プロジェクト「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト(※1)」の1つに、「文化祭でのICT活用(※2)」の取組があります。昨年度の山口市立宮野中学校での取り組みに続き、今年度は、山口市立大殿中学校文化祭において、生徒が1人1台のタブレット端末を活用して映像表現を学ぶプログラム「うご板(いた)」を、昨年度のをさらにアップデートしたバージョンで公開します。</p> <p>生徒たちはタブレット端末(Chromebook)を使って映像制作を行いながら、いままでにない現代のデジタル壁画を発表します。今回のために、タブレット端末で映像表現が学べる教材「うご板」を開発。「うご板」では、映像素材(映像が映し出されたタブレット端末)を持った生徒たちが現実の空間に映像素材を配置し、映像表現を学びながら「つながる映像」を作ることができます。</p> <p>一般的に映像の「編集」は動画編集ソフトを用いて、映像データを端末のディスプレイに表示し、イメージと時間を切り貼りする作業ですが、「うご板」の教材を活用することで、生徒自身が1つの映像素材の役割を体験し、複数の映像を並べる、重ねる、繋げる、といったブロック遊びのように体感的におこなうことができます。</p> <p>文化祭で生徒たちはこの教材を用いて、映像のうごきやストーリーをつなぎ、約60台におよぶ大量のタブレットで大型作品の制作を目指します。</p> <p>こうした制作体験を通じて、生徒たちが映像のしぐみを理解し、より多様なメディア表現や応用方法を生み出し創造性を育む機会を目指すとともに、1人1台のタブレット端末を活用した授業、使い方の提案、教育現場での新たな教育モデルとして全国に発信する取り組みです。</p>

【うご板】2023年度バージョン開発中の様子

昨年度の宮野中の様子



山口市

- 【日程】 9:40～10:00 ①報道関係者受付
10:00～10:20 ②「アニメーション壁画うご板」について
秋田公立美術大学 准教授 萩原 健一 氏
YCAMスタッフ 等
10:20～10:50 ③会場準備等
10:50～11:05 ④「うご板」公開

(※1) やまぐち子ども未来型学習プロジェクト

教育委員会とYCAMが連携し、山口の子どもたちに、ICT機器の操作方法や情報（メディア）リテラシーの習得を働きかけるとともに、情報を分かりやすく発信・伝達する能力やプログラミング的思考、情報モラルなどの情報活用能力を育み、これからの山口を担う人材の育成をめざす。

(※2) 文化祭でのICT活用

「うご板」を制作する過程で、生徒自身の発想力、創造力、論理的思考能力を育成するとともに、Chromebook等のICT機器の操作技術や情報（メディア）リテラシーの習得を図る。

◆報道関係者の皆様へのお願い

・取材を希望される場合は、10月27日（金）までに学校教育課担当（馬屋原）まで御連絡ください。

5 出席者 山口市立大殿中学校2年生（26名）及び教員、YCAMスタッフ、秋田公立美術大学 准教授 萩原健一氏、他スタッフ

6 問い合わせ 山口市教育委員会事務局 学校教育課 TEL (083) 934-2863